



～図書室にはこんな本があります～

No. 51

★ 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料を紹介します。

(書名の後の()の数字は請求記号です。)

1 太平洋戦争での日本人の被害者数

『史料・太平洋戦争被害調査報告』(210.75 N37 閉架)
に、一般国民・軍人・軍属の被害者数が載っています。

・特定の地域を調べたい場合

図書 → ことば → 調べたい地名 戦災
(地名→空白→戦災) と入力します。

『東京都戦災誌』(210.75 To46 閉架)
『横浜の空襲と戦災』(210.75 Y75 開架)
『川崎空襲・戦災の記録』(210.75 Ka97 閉架) 等、所蔵しています。

また、原爆の被害については、簡単なものでは
『昭和 二万日の全記録 第7巻』(210.7 Ko19 7 開架)
詳しいものは、広島市・長崎市が出版している
『広島原爆戦災誌』(210.75 H73 開架)
『長崎原爆戦災誌』(210.75 N21 開架) があります。

2 戦争で兵士として動員された数と戦没者数

『日本の戦争 図解とデータ』(391.2 Ku98 開架) [兵員数・戦没者数]
『昭和日本史 4』(210.7 Sh97 4 開架) [兵員数]
『援護行政の現状』(369.1 Ko83 開架) [戦没者数]

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊!!!・・・49

筆者のお昼休みは、神保町散策です。といっても昔のように端から全部の古本屋さんを襲撃するような元気はありません。そこで、覗くお店が決まってくるのですが、まず、今改築中の日本特価書籍と篠村書店、ここはざっと見ます。次いで古書センター前の特価本を見て、四つ角を渡り、明倫館をみて一誠堂を覗きます。少し進んで田村書店と小宮山書店を見て、最後に新刊の書泉グランデを見てUターンします。この先のも本屋は多いのですが、時間切れです。

さて、来る途中に良い本があれば当然買っておきますが、考えながら来て、やっぱり買おうかな。と思った本は帰りに買います。もちろんこの僅かな時間で既にお買われてしまう本も少なくありませんが、それは“運命”素直に運命に従います。以前書きましたが、やっと見つけた本を、チョット後でと思ったばかりに買いそびれ、何年もうなされた事がありますが、最近、筆者も「大人」になったので、買える、買えないは運命と納得しています。おかげで古書展目録の欲しい本が抽選で外れても、さほど残念には思わなくなりました。どうしても欲しい本が少なくなったせいもありますね。歳のせいかな。

さて、最近の筆者の収穫は、戦前の子供向け海軍雑誌であった「海軍グラフ」です。バラバラに何冊か本棚にあったので、揃えてみようと思っていたところ、インターネットの古本目録に合本が何冊か出ていたので、早速買いました。届いてビックリ、なんと合本された表紙に海軍研究社蔵書と箔押しされているのです。海軍研究社は「海軍グラフ」の発行元で、かつて発行元の本棚に収まり、編集者が時々見たであろう合本が、65年以上を隔てて筆者の本棚に並んだのです。特にどうと言うことはありませんが、何か“運命”を感じませんか？おかげで勢いついた筆者は、あちこち駆け回り、何と2ヶ月で70数冊の殆どを集めてしまいました。もう一つの海軍雑誌「海と空」の全巻を集めるのには、40年を掛けたことを思えば、我ながら驚いてしまいます。古本集めには、こんな事もあるのですね。(午睡)



—図書室から—

あつという間に今年も残り少なくなってきました。急に、あれもこれも・・・とやる事がいっぱいスケジュールの調整が大変な季節です。ゆっくりと落ち着いた年末をおくるコツはないものでしょうか？

*昭和館刊行物「昭和館館報 平成14年度」が発行されました。

平成14年度事業報告である「昭和館館報 第4号」が発行されました。図書室開架、新着雑誌棚にありますのでご覧ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 51

2003年11月22日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1